

技術カタログの位置づけ

1. 背景となる問題意識

規制所管省庁等については、規制の見直しを検討するにあたり、どのような企業がどのような技術を保有しているかわからない（どのような企業に問合せをすればよいかもわからない）。

技術保有機関等については、規制の見直しに用いることができるような技術を保有していても、それをアピールする場がない。

2. 技術カタログの目的

規制の見直しに用いられる技術について、共通の技術カタログ掲載項目を設定し、**共通の物差しで製品・サービス等の特性を比較検討できるようにすることで、規制所管省庁等が規制の見直しの際に必要な技術の選定や選択を円滑に行うことができるようにする。**

3. 技術カタログの基本的な位置付け

技術利用者の判断をサポートするための情報を提供する仕組みを想定しており、**国が個別技術を証明・認証等を行うことは想定していない。**

そのため、技術カタログに掲載されている技術の利用に関しては、**技術利用者が責任を持つものとし、技術カタログに掲載されている技術の導入・利用を検討する場合には、セキュリティ等の安全性や投資効果等を十分に考慮の上、技術カタログに掲載された企業に技術の詳細等を確認するものとする。**

応募フォームにおける設問の趣旨

本公募に関する応募フォーム各セクションの設問趣旨を以下に示します。

各セクションにおける設問の趣旨

セクション名	趣旨
法人情報	✓ 製品・サービスの情報提供元となる法人情報についての情報収集を行います。
製品・サービス情報	✓ 製品・サービスについての概要情報を収集します。
製品・サービスの製造業者情報	✓ 製品・サービスの製造業者についての情報収集を行います。
必須機能	✓ 本公募にて必須とした機能についての情報収集を行います。 ※必須機能の詳細については次頁を参照してください。
その他募集対象とする機能	✓ 本公募にて必須としないが、備えていると望ましい機能についての情報収集を行います。 ※その他募集対象とする機能の詳細については次頁を参照してください。
サイバーセキュリティ	✓ 製品・サービスや提供法人のサイバーセキュリティ対策状況について情報収集を行います。 ✓ 技術カタログへ掲載する製品・サービスについてサイバーセキュリティの観点で、技術を活用しようとする規制所管省庁等に対してセーフガード（セキュリティ対策）に関する情報提供を行うことを目的とします。
製品・サービスの導入実績	✓ 製品・サービスの導入実績に係る情報収集を行います。
その他製品・サービス情報	✓ 製品・サービスに係る費用情報やアピールポイント等の、機能やセキュリティ以外の補足的な情報収集を行います。
事故発生時におけるユーザーの保護・救済	✓ 製品・サービスの利用者と契約上の問題や損害が生じた場合の、利用者の保護・救済に関する情報の収集します。
問い合わせ先情報	✓ 技術カタログの閲覧者及び事務局等が製品・サービスについての問い合わせを行う際の連絡先の情報収集を行います。
その他	✓ 著作権の取り扱い、技術カタログの利用規約、募集フォームへの回答内容についての確認または同意のセクションとなります。

測定・分析のデジタル化後の業務と求められる機能

本公募で募集する技術

液体・気体に含まれる化学物質や放射性物質等を自動で測定し、基準値との比較分析や判断等を可能とする、測定・分析のデジタル化を実現する製品・サービス

デジタル化後の業務と求められる機能

凡例： 本公募で募集する機能

プロセス	業務	技術	求められる機能
現場での準備	測定・分析機器を現場に設置	—	—
測定・分析	液体・気体に含まれる化学物質や放射性物質等を測定・分析	測定・分析	測定・分析機能 ※測定・分析、データ保存の二つの技術を含む
		データ保存	
判断	測定・分析結果について基準値や過去情報等との比較から、異常又はその予兆の有無等を判断	判断	判断機能 ※判断・通知の二つの技術を含む
		通知	

必須機能

その他募集機能

課題		課題解決に必要な要件のイメージ
概要	規制所管省庁(現場)の声	
調査対象物の自動測定	<ul style="list-style-type: none"> 常時測定における測定・分析精度を担保する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 基準に準拠した測定・分析ができる等、精度を担保することができる等（例：極めて小さい単位（ピコグラム）で測定が可能 等）
	<ul style="list-style-type: none"> 電源に限られた環境で測定・分析を実施する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 測定を行う現場で一定期間給電なく稼働することが可能、等（技術例：太陽光による充電が可能、リチウムイオン等による大容量バッテリーを搭載、省電力設計であるため省電力での稼働が可能、等）
	<ul style="list-style-type: none"> 測定・分析機器の定期的なメンテナンスにより、測定・分析の精度の低下を防ぐ必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 測定・分析機器を遠隔地に設置する際、測定・分析機器の校正や機能維持を自動的に行うことができる 等
	<ul style="list-style-type: none"> 測定・分析結果を保存し、任意のタイミングで確認する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 現地で測定した結果をPCやクラウド上に保存することができる 等
測定・分析データの判断	<ul style="list-style-type: none"> 施設の健全な運転管理を行うにあたり、測定・分析対象の異常を事前に検知する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> AI等の判断機能を用いて、過去データとの比較等によりトレンド予測を行うことで、異常予兆の検知を行うことができる 等